

幸せのための森林との付き合い方を求めて／ マーケットと環境を結びつける

関連するSDGsの国際目標



環境科学部 環境政策・計画学科 教授 高橋 卓也

研究分野：環境経営 森林政策・計画

<http://www.asahi-net.or.jp/~zf6t-tkhs/>

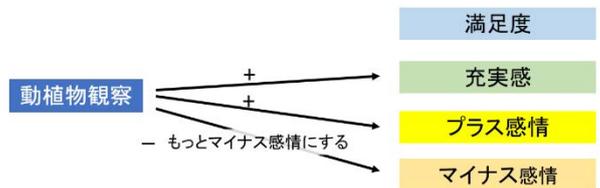
経済学・経営学の視点から、環境問題に取り組みます。人びとの幸福度を高める森林経営とはどのようなもののでしょうか？環境配慮型の経営を進めるには、どのような仕組み、企業文化であればよいのでしょうか？実態調査から考えます。

■ テーマ1： 森林・林業の政策・計画

- ・森林経営と人びとの幸せ（ウェルビーイング、主観的幸福度）の関係性の解明
- ・環境を配慮した革新的森林経営手法の開発改革 — 環境支払い、森林認証、森林サービス産業
- ・境界不明確森林・所有者不明森林問題の実態解明
- ・集落共有林（入会 [いりあい] 林；コモンズの森林）の経営 — 構成員の関心を高める方策、自然公園の利用、etc.
- ・滋賀県の木材流通の改革 — 周辺府県との交錯流通をどうするか、地域材運動、「木の駅」運動（自家伐採木材の買い取り）etc.
- ・学校林の運営、森林環境教育（「山の子」事業）等の実態調査・改善策の提案、木育（もくいく；木との親しみを生み出す教育）の提案
- ・山村振興、限界集落問題、山村の観光
- ・獣害問題



森林関連活動の森林幸福度への影響



- ・4種類それぞれの森林幸福度に、それぞれの活動が異なった影響を及ぼす。
- ・動植物観察は森林充足感、プラス感情に関しては正の影響を与えるが、マイナス感情をより強くする(獣害によるものだろう)

■ テーマ2： 環境経営

- ・企業文化と環境経営の関連性
- ・環境マネジメントシステムの効果を高めるにはどうすればよいか？ 環境マーケティング — 環境ラベル製品に対する需要の拡大、森林認証・漁業認証の認知度・購買意欲の現状、etc. 環境配慮購入の実態調査
- ・環境産業、環境ビジネスの可能性（⇒ 環境を浄化したり、環境負荷を低減したりする機器、装置、サービス等を提供する産業には大きな可能性がある。そうした産業、ビジネスの具体的課題を解明していく。）
- ・日本のCSRの源流ともいわれる近江商人の「三方よし」の現代的意義、世界の中での位置づけ

四つのタイプの企業文化(Cameron and Quinn, 2006)



どのタイプの文化が環境経営になじむのか？

Masaki Sugita, Takuya Takahashi (2015) Influence of Corporate Culture on Environmental Management Performance: An Empirical Study of Japanese Firms, *Corporate Social Responsibility and Environmental Management* 22(3): 182-192. (企業文化が環境マネジメント成果に及ぼす影響: 日本企業の実証的調査)